

II 住民基本台帳人口による社会動態

1 概 要

平成 22 年の社会動態は、市外からの転入が 4 万 3976 人、市外への転出が 4 万 3085 人で、891 人の転入超過となりました。

これを地域別にみていくと、仙台都市圏内の他市町村及び東京圏、その他の地方（国外含む）に対して転出超過となっています。また、仙台都市圏以外の宮城県内市町及び東北 5 県に対しては引き続き転入超過となっています。

この結果、区間移動と職権記載等のその他増加数を加えた社会増加数は 1232 人で、平成 13 年
以来の千人を超える社会増となっています。（表 2、図 6、統計表第 2、3 表）

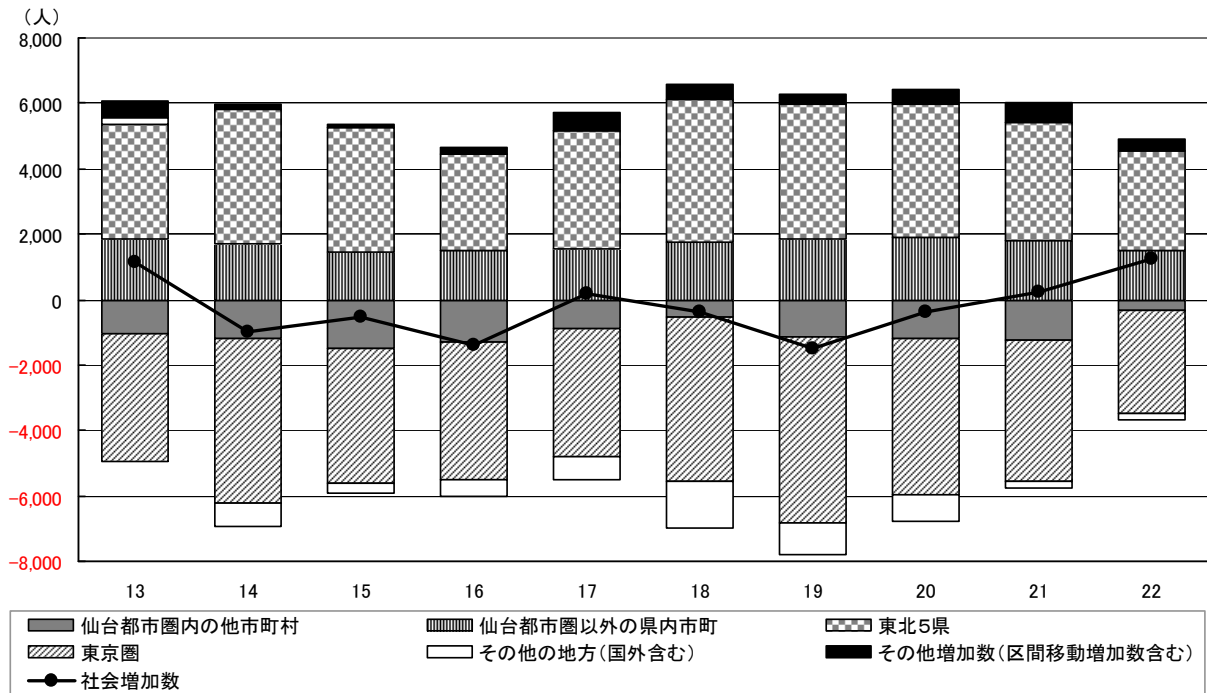
表 2 市外との移動：転入数、転出数、社会増加数の推移—全市（平成 13 年～平成 22 年）

(単位：人)										
地 域	平 成 13 年	14	15	16	17	18	19	20	21	22
転 入 数	53,931	51,881	51,937	49,372	49,340	49,112	47,874	47,128	45,295	43,976
宮城県	13,260	12,879	12,540	12,083	12,128	12,495	12,247	11,978	11,336	11,362
仙台都市圏内の他市町村	6,170	6,151	6,135	5,898	5,952	6,236	6,019	5,911	5,613	5,842
" 以外の市町	7,090	6,728	6,405	6,185	6,176	6,259	6,228	6,067	5,723	5,520
東北5県	17,791	17,604	17,134	16,021	15,973	16,317	15,460	14,821	14,051	13,048
東京圏	11,883	11,281	11,554	10,878	11,216	10,649	10,504	10,848	10,505	10,659
その他の地方(国外含む)	10,997	10,117	10,709	10,390	10,023	9,651	9,663	9,481	9,403	8,907
転 出 数	53,338	53,005	52,558	50,925	49,682	49,944	49,712	47,917	45,636	43,085
宮城県	12,431	12,366	12,635	11,913	11,443	11,272	11,522	11,287	10,783	10,201
仙台都市圏内の他市町村	7,199	7,331	7,658	7,202	6,817	6,790	7,158	7,116	6,857	6,186
" 以外の市町	5,232	5,035	4,977	4,711	4,626	4,482	4,364	4,171	3,926	4,015
東北5県	14,277	13,477	13,287	13,026	12,346	11,955	11,369	10,736	10,420	10,003
東京圏	15,805	16,339	15,620	15,074	15,175	15,654	16,195	15,627	14,798	13,780
その他の地方(国外含む)	10,825	10,823	11,016	10,912	10,718	11,063	10,626	10,267	9,635	9,101
社会増加数	593	△ 1,124	△ 621	△ 1,553	△ 342	△ 832	△ 1,838	△ 789	△ 341	891
宮城県	829	513	△ 95	170	685	1,223	725	691	553	1,161
仙台都市圏内の他市町村	△ 1,029	△ 1,180	△ 1,523	△ 1,304	△ 865	△ 554	△ 1,139	△ 1,205	△ 1,244	△ 344
" 以外の市町	1,858	1,693	1,428	1,474	1,550	1,777	1,864	1,896	1,797	1,505
東北5県	3,514	4,127	3,847	2,995	3,627	4,362	4,091	4,085	3,631	3,045
東京圏	△ 3,922	△ 5,058	△ 4,066	△ 4,196	△ 3,959	△ 5,005	△ 5,691	△ 4,779	△ 4,293	△ 3,121
その他の地方(国外含む)	172	△ 706	△ 307	△ 522	△ 695	△ 1,412	△ 963	△ 786	△ 232	△ 194
※参考										
その他増加数	533	151	66	178	530	429	338	423	582	341
" を含む社会増加数	1,126	△ 973	△ 555	△ 1,375	188	△ 403	△ 1,500	△ 366	241	1,232

※上記「その他増加数」には職権記載・消除、国籍取得・喪失等の他に、市内区間移動増減数が含まれています。

(マイナスは転出超過数)

図6 転出入超過数の地域別内訳 (平成13年~22年)



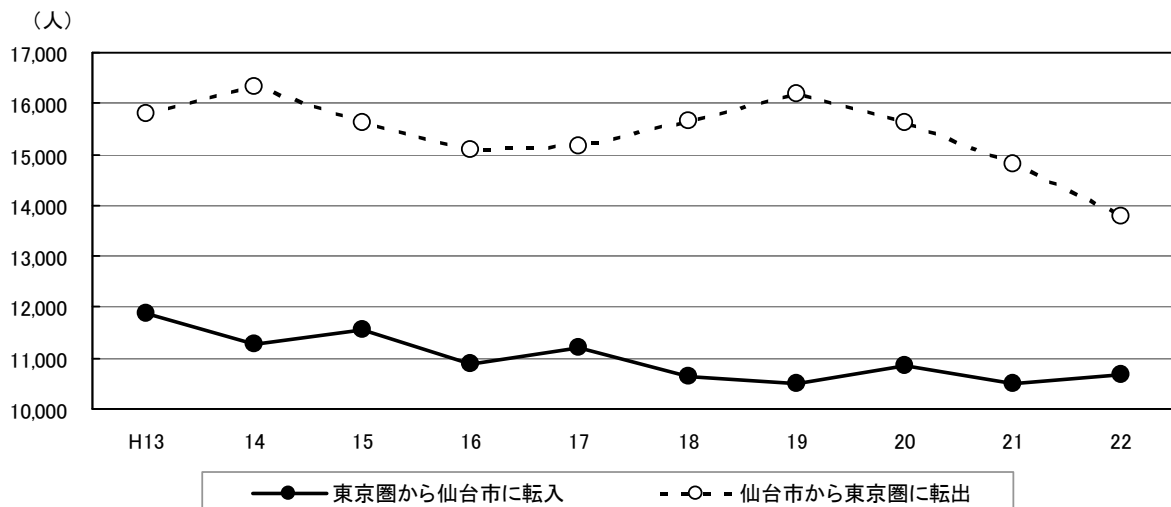
2 東京圏に対する人口移動

東京圏に対する人口移動は、平成13年以降ではすべて転出超過で推移しています。

転出入の差は、東京圏からの転入者数がほぼ横ばいで推移しているものの、転出者数は平成21年と比べてさらに減少したため、平成20年以降は縮小する傾向が続いています。

(図6、7、表2、統計表第2表)

図7 東京圏との転出入者数 (平成13年~22年)



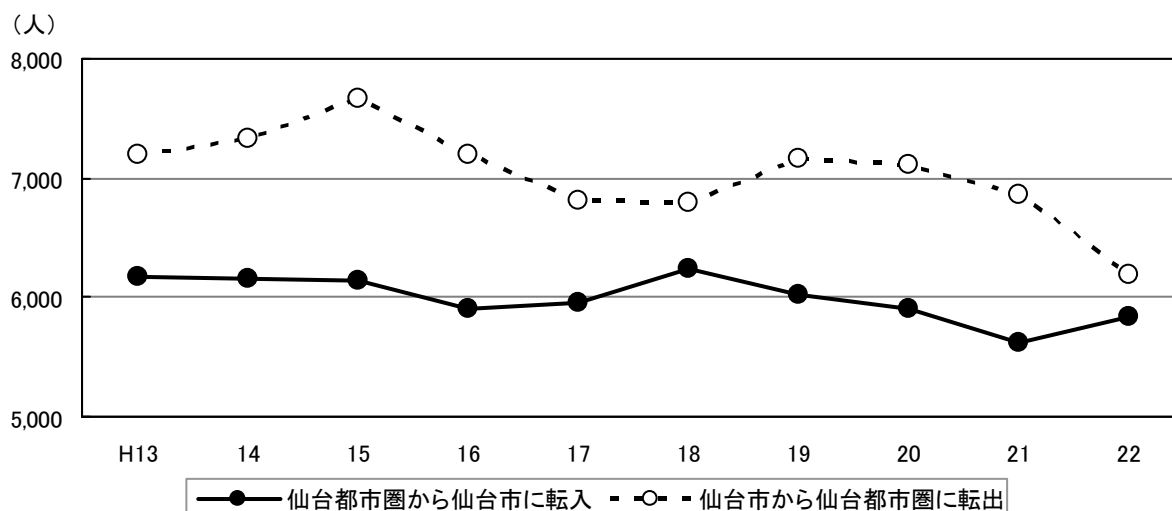
3 県内他市町村に対する人口移動

仙台都市圏内の他市町村に対する人口移動は、転入数が5842人、転出数が6186人で、344人の転出超過でした。市町別の内訳をみると、転入超過となっているのは9市町村、転出超過となっているのは4市町となっています。

仙台都市圏内の他市町村に対する転出超過数は、平成13年以降では最小となりました。

(図6、8、表2、統計表第3表)

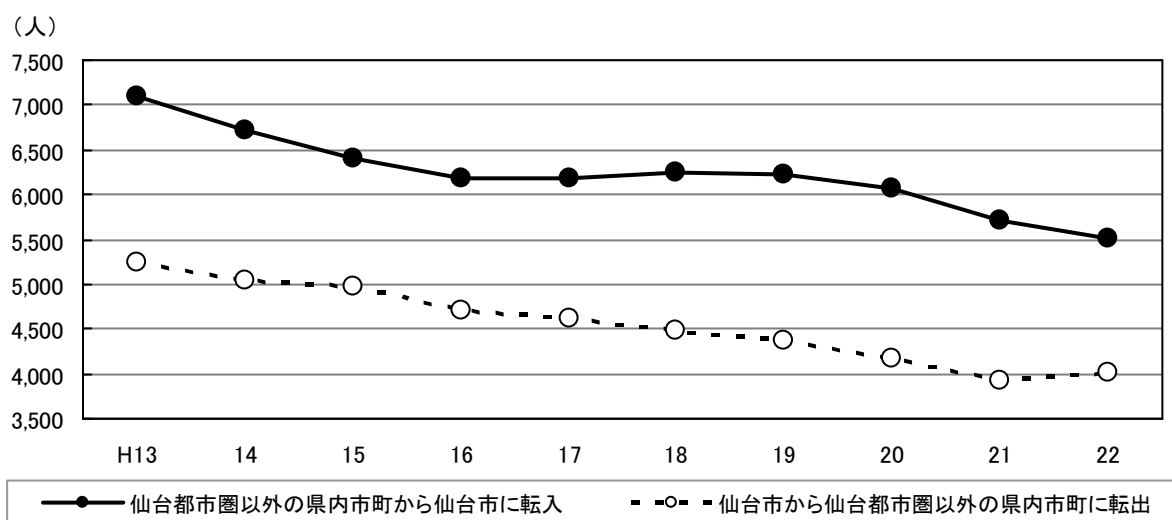
図8 仙台都市圏との転出入者数（平成13年～22年）



仙台都市圏以外の県内市町村に対する人口移動は、転入数が5520人、転出数が4015人で、1505人の転入超過となりました。平成13年以降ではすべて転入超過で推移しています。

(図6、9、表2、統計表第3表)

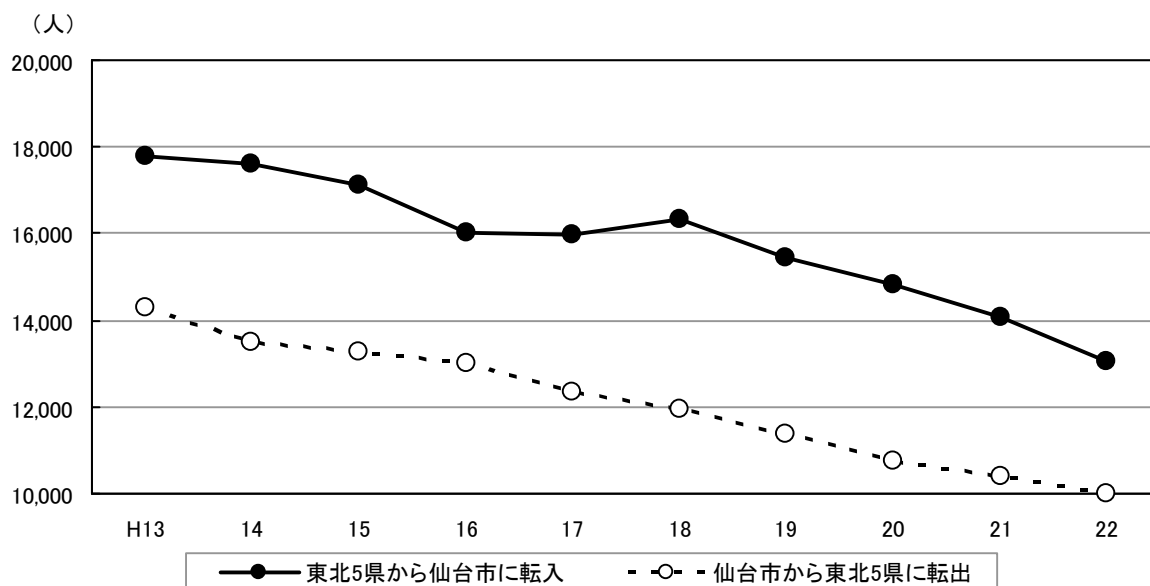
図9 仙台都市圏以外の県内市町村との転出入者数（平成13年～22年）



4 東北5県及びその他の地方（国外含む）に対する人口移動

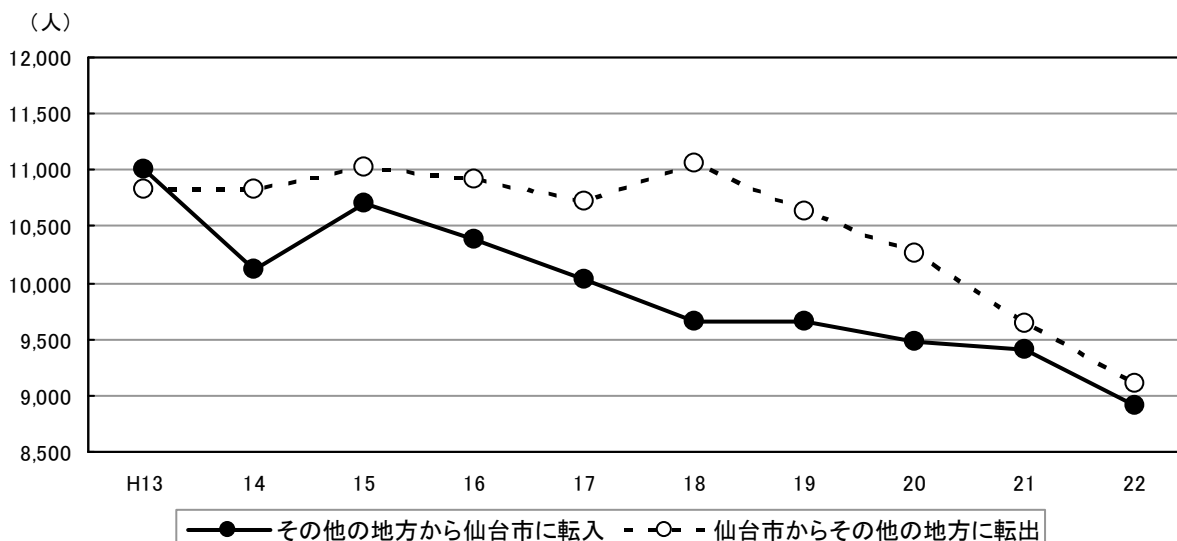
東北5県に対する人口移動は、転入数が1万3048人、転出数が1万3人で、3045人の転入超過となりました。平成13年以降で見ると、転入数、転出数ともに減少傾向が続いており、平成22年は転入数、転出数とも過去最低となりました。また、この期間、東北5県に対してはすべて転入超過で推移しています。（図6、10、表2、統計表第2表）

図10 東北5県との転出入者数（平成13年～22年）



その他の地方（国外含む）に対する人口移動は、転入数が8907人、転出数が9101人で、194人の転出超過となりました。平成13年以降で見ると、期間中は概ね転出超過で推移しているものの、転入者の減少以上に転出者の減少が大きく、平成22年には、転出超過数が最小となっています。（図6、11、表2、統計表第2表）

図11 その他の地方との転出入者数（平成13年～22年）

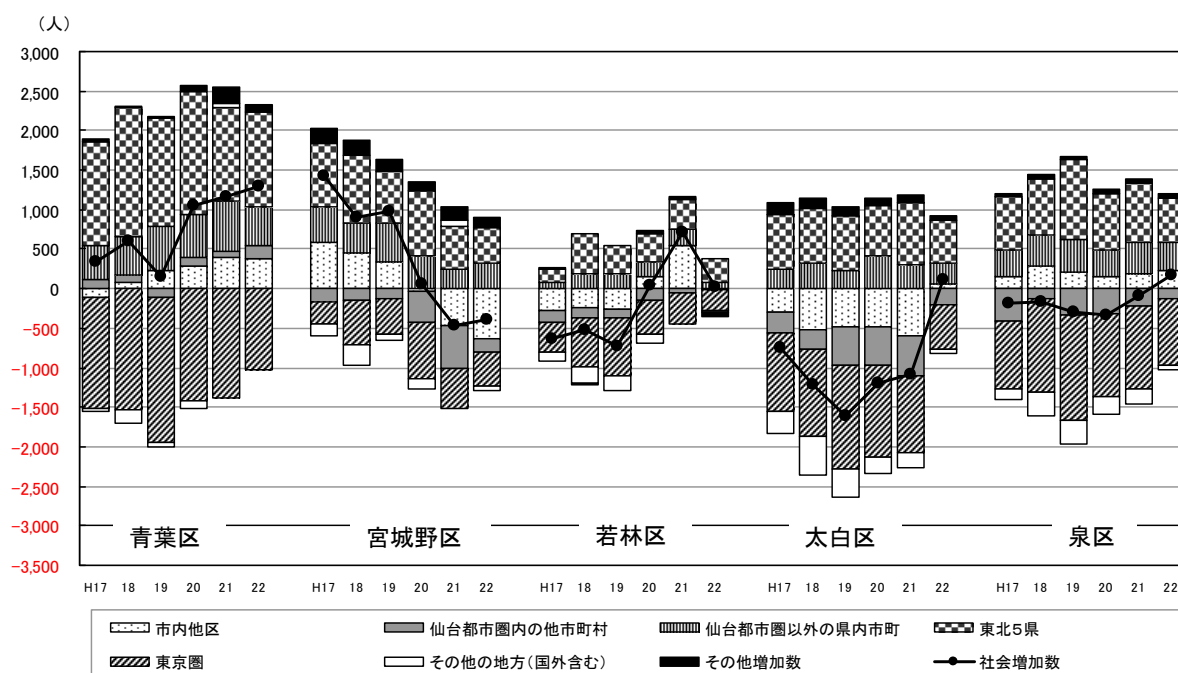


5 区別の社会動態

平成 22 年の区別社会動態は、青葉区・若林区・太白区・泉区で社会増、宮城野区で社会減となりました。その内訳について、次のような点が特徴として挙げられます。

- ① 市内他区に対しては、青葉区・太白区・泉区で転入超過、宮城野区・若林区で転出超過。
- ② 仙台都市圏内の他市町村に対しては、青葉区を除く 4 区で転出超過。
- ③ 東京圏に対しては、全区で転出超過。
- ④ その他の地方に対しては、太白区を除く 4 区で転出超過。
- ⑤ 仙台都市圏以外の県内市町及び東北 5 県に対しては、全区で転入超過。

図 1 2 地域別社会増加数（転入数－転出数）－区（平成 17～22 年）



【青葉区】市内他区、宮城県内の他市町村、東北 5 県の転入超過数はほぼ横ばいで推移したのに対し、東京圏への転出超過数が縮小し、社会増加数全体としては増加となった。

【宮城野区】市内他区への転出超過が増加し、その他の地方において転出超過に転じた。一方、宮城県内の他市町村に対しては転入超過に転じ、全体では転出超過ではあるが、その数は縮小している。

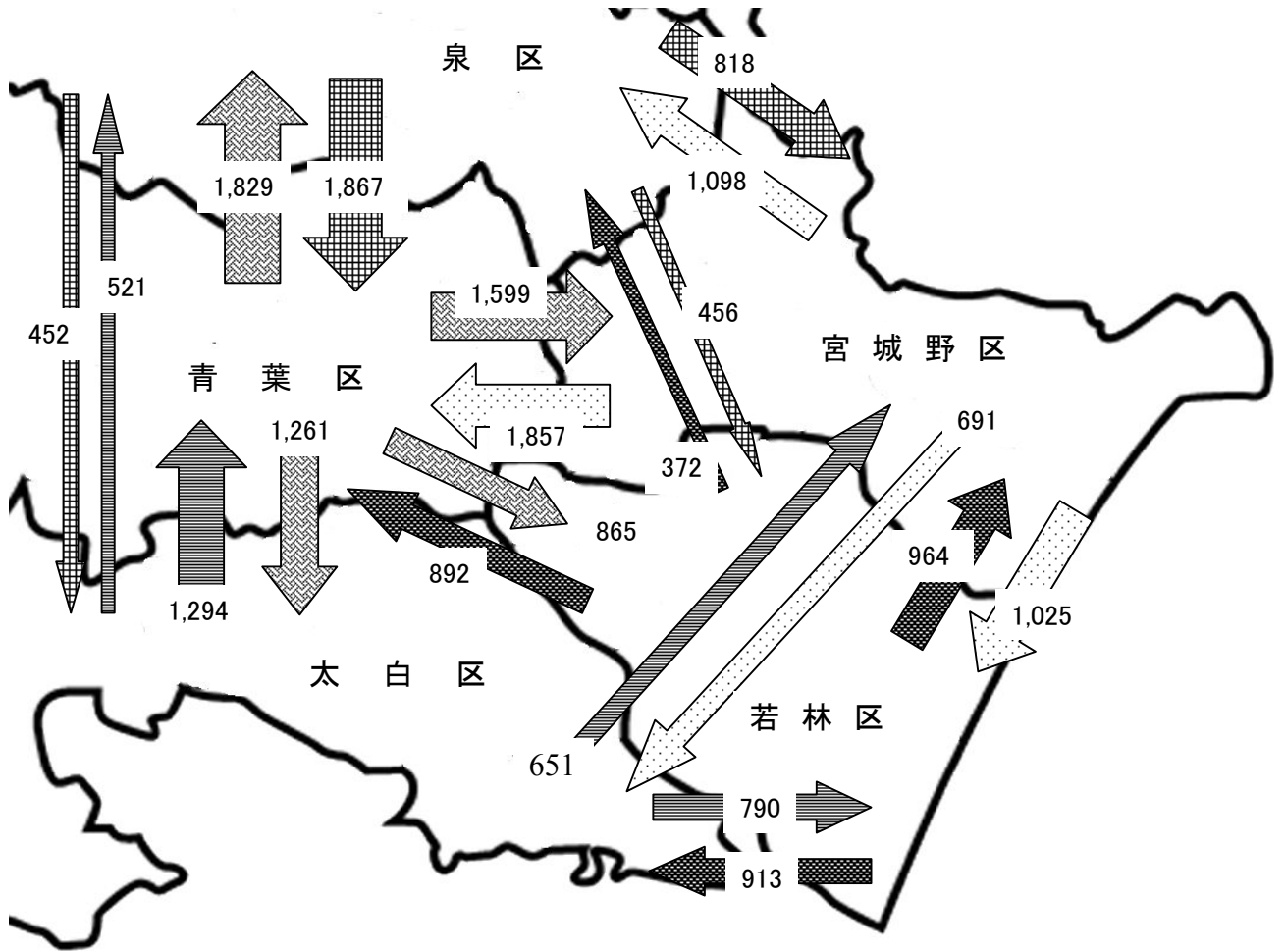
【若林区】市内他区、その他の地方において転出超過に転じた。東京圏に対する転出超過数が縮小したものの、他の地域における転入超過数も縮小し、社会増加数は大きく減少した。

【太白区】市内他区、宮城県内の他市町村において転入超過に転じた。仙台都市圏内の他市町村、東京圏において転出超過数が前年と比べほぼ半分に縮小し、全体として社会増に転じた。

【泉区】市内他区、宮城県内の他市町村からの転入超過が拡大した。東北 5 県からは転入超過は縮小したものの、東京圏、その他地方に対する転出超過数も縮小し、全体として社会増に転じた。

(図 1 2、表 3、統計表第 4 表)

図13 区間人口移動（平成22年 転入ベース）



区間相互における人口移動をみると、最も人口移動が多いのは前年同様、青葉・泉区間で、泉区から青葉区への移動数は1867人となっています。逆に最も人口移動が少ないのは、前年同様、若林・泉区間で、若林区から泉区への移動は372人となっています。

転入ベースでみると、相互間の移動数に最も差があるのは宮城野・泉区間の移動で、泉区は282人の転入超過となっています。青葉区がすべての区に対して転入超過となっているのに対し、宮城野区はすべての区に対して転出超過となっています。

転入・転出の差し引きによる、区別の対市内各区社会増減をみると、青葉区はすべての区に対して転入超過で、全体では369人の転入超過となっています。宮城野区はすべての区に対して転出超過で、市内移動のみで635人の転出超過となっています。若林区は宮城野区、泉区に対して転入超過で、全体では2人の転出超過となっています。太白区は宮城野区、若林区に対して転入超過で、全体では62人の転入超過となっています。泉区は宮城野区、太白区に対し転入超過で、全体では234人の転入超過となっています。

(図13、表3、統計表第4表)

表3 社会増加数の地域別内訳一区（平成17年～22年）

（単位：人）

区、年次	社 会 増加数	市 内 他 区	宮城県	仙台都市圏		東 北 5 県	東 京 圏	その他の 地方 (国外含 む)	その他 増加数
				仙台都市 圏内の 他市町村	仙台都市 圏以外の 市町				
青葉区									
平成17年	336	△ 105	555	118	437	1,295	△ 1,408	△ 39	38
18	603	82	585	90	495	1,613	△ 1,530	△ 167	20
19	158	233	450	△ 103	553	1,378	△ 1,847	△ 60	4
20	1,046	275	669	122	547	1,550	△ 1,422	△ 98	72
21	1,160	389	715	85	630	1,184	△ 1,385	65	192
22	1,303	369	666	172	494	1,198	△ 1,028	0	98
宮城野区									
平成17年	1,422	584	295	△ 159	454	796	△ 297	△ 142	186
18	903	452	241	△ 139	380	849	△ 569	△ 259	189
19	982	346	353	△ 124	477	659	△ 448	△ 76	148
20	66	△ 32	32	△ 388	420	825	△ 718	△ 140	99
21	△ 473	△ 470	△ 294	△ 548	254	544	△ 490	66	171
22	△ 399	△ 635	157	△ 167	324	438	△ 436	△ 60	137
若林区									
平成17年	△ 634	△ 269	△ 63	△ 150	87	157	△ 388	△ 101	30
18	△ 523	△ 249	65	△ 130	195	494	△ 612	△ 197	△ 24
19	△ 736	△ 255	82	△ 109	191	352	△ 739	△ 180	4
20	48	147	54	△ 145	199	347	△ 429	△ 113	42
21	718	546	147	△ 61	208	371	△ 393	19	28
22	30	△ 2	70	△ 12	82	303	△ 259	△ 31	△ 51
太白区									
平成17年	△ 743	△ 290	△ 24	△ 263	239	702	△ 1,008	△ 279	156
18	△ 1,214	△ 516	74	△ 248	322	687	△ 1,107	△ 490	138
19	△ 1,608	△ 491	△ 237	△ 474	237	687	△ 1,319	△ 349	101
20	△ 1,199	△ 493	△ 69	△ 475	406	639	△ 1,168	△ 207	99
21	△ 1,080	△ 603	△ 188	△ 499	311	774	△ 972	△ 190	99
22	118	62	50	△ 204	254	542	△ 565	△ 43	72
泉 区									
平成17年	△ 193	158	△ 78	△ 411	333	677	△ 858	△ 134	42
18	△ 172	287	258	△ 127	385	719	△ 1,187	△ 299	50
19	△ 296	213	77	△ 329	406	1,015	△ 1,338	△ 298	35
20	△ 327	162	5	△ 319	324	724	△ 1,042	△ 228	52
21	△ 84	182	173	△ 221	394	758	△ 1,053	△ 192	48
22	180	234	218	△ 133	351	564	△ 833	△ 60	57